

新福岡県立美術館整備事業
基本設計プロポーザル

審査結果報告書

令和5年3月

新福岡県立美術館整備事業
基本設計プロポーザル選定委員会

令和5年3月
新福岡県立美術館整備事業
基本設計プロポーザル選定委員会

委員長	宮城 俊作
副委員長	小林 正美
委員	稲庭 彩和子
委員	内田 まほろ
委員	坂井 猛
委員	島 敦彦
委員	中村 拓志

1. 審査結果

本プロポーザルについて、新福岡県立美術館整備事業基本設計プロポーザル選定委員会（以下、「選定委員会」という。）が審査した結果、次のとおり、最優秀者及び次点者を選定しました。

(1) 最優秀者

株式会社 隈研吾建築都市設計事務所

(2) 次点者

株式会社 A S

2. プロポーザルの経過

項目	実施日	内容
公示日	令和4年8月23日	公募内容の公表
質問（1期）	令和4年8月23日 ～9月8日	
質問への回答（1期）	令和4年9月14日	122の質問に回答
現地説明	令和4年8月29日 ・9月5日	参加表明書提出予定者に対し、建設予定地を案内
参加表明書の提出	令和4年9月14日 ～9月20日	
参加資格通知	令和4年9月27日	参加表明書の提出があった者に対し、参加資格通知
質問（2期）	令和4年9月27日 ～10月3日	
質問への回答（2期）	令和4年10月7日	68の質問に回答
一次審査書類の提出	令和4年10月7日 ～11月7日	39者の一次審査書類を受付
一次審査	令和4年11月28日	2回投票により、一次審査参加者39者の中から4者を一次審査通過者に選定
一次審査結果の通知	令和4年11月29日	一次審査参加者に対し、一次審査結果を通知
代表作品現地視察	令和5年1月6日 ～1月13日	二次審査参加者の代表作品を視察
二次審査	令和5年1月21日	採点及び決選投票により、二次審査参加者4者の中から最優秀者・次点者を選定
二次審査結果の通知	令和5年2月9日	二次審査参加者に対し、二次審査結果を通知

3. 選定委員会 委員

区分	氏名	分野	所属
委員長	宮城 俊作	都市 デザイン	東京大学大学院 教授
副委員長	小林 正美	建築	明治大学 教授
	稲庭 彩和子	アートコミュニ ケーション	独立行政法人国立美術館 本部主任研究員
	内田 まほろ	ミュージアム	一般財団法人 JR 東日本文化創造財団 高輪ゲートウェイシティ（仮） 文化創造棟準備室長
	坂井 猛	都市 計画	九州大学大学院 教授
	島 敦彦	美術館	国立国際美術館 館長
	中村 拓志	建築	株式会社 NAP 建築設計事務所 代表取締役

(50 音順、敬称略)

4. 審査の経緯

(1) 一次審査

日 時：令和4年11月28日（月） 13:00～17:30

会 場：アクロス福岡国際会議場

その他：一般傍聴者 109名

提案者傍聴 59名（34者）

報道関係者 4名（4社） 傍聴者総数 172名

一次審査提出書類（技術提案書、設計方針、業務の取組方針等）を審査。

≪技術提案書（一次審査）の主題≫

主題1： 公園と一体となった美術館

「公園と一体となった美術館」を実現するため、計画地にふさわしい美術館の外観デザイン及びランドスケープ、ゾーニングについて提案を求めます。

主題2： 県民が親しみ、誇りを育む美術館

「芸術の可能性を拓げ、挑戦する美術館」、「九州・福岡県の文化芸術の発展に貢献する美術館」の2つを両輪とし、県民や芸術家が主役となり、県民とともに成長する、「県民が親しみ、誇りを育む美術館」を実現するための、基本的な考え方や空間構成等について提案を求めます。

委員間協議により、2回投票（1回目で8者程度、2回目で4者程度を選定）を行い、一次審査通過者を選定することとした。その結果、以下のとおり39者の中から4者を選定。

①投票（1回目）

各委員の持ち票8票で投票。3票以上を獲得した**11者**を選定。

[集計一覧（1回目）]

番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
票数	0	0	3	2	0	0	0	1	3	0

番号	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
票数	1	3	1	6	1	2	6	0	3	1

番号	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
票数	1	1	4	3	0	0	6	0	3	0

番号	31	32	33	34	35	36	37	38	39
票数	0	1	0	0	0	3	0	1	0

[集計結果（1回目）]

票数	提案者数	累計
7	0	0
6	3	3
5	0	3
4	1	4
3	7	11
2	2	13
1	9	22
0	17	39

投票（2回目）へ（11者）

3	9	12	14	17	19
23	24	27	29	36	

②投票（2回目）

各委員の持ち票4票で投票。4票以上を獲得した3者を一次審査通過者として選定。3票を獲得した2者を決選投票へ。

[集計一覧（2回目）]

番号	3	9	12	14	17	19	23	24	27	29	36
票数	0	1	1	6	5	2	4	3	2	1	3

[集計結果（2回目）]

票数	提案者数	累計
7	0	0
6	1	1
5	1	2
4	1	3
3	2	5
2	2	7
1	3	10
0	1	11

過半数の4票以上を獲得（3者）

14	17	23
----	----	----

決選投票へ（2者）

24	36
----	----

③決選投票

投票（2回目）で3票獲得した2者について、各委員が1票を投票。過半数の4票を獲得した1者を一次審査通過者4者目として選定。

番号	24	36
票数	4	3



24

④一次審査通過者

- ・株式会社 AS
- ・株式会社 隈研吾建築都市設計事務所
- ・SUEP・昭和設計共同体
- ・西澤・EIKA studio 設計共同体 (50音順)

一次審査参加者
株式会社 青木茂建築工房
株式会社 A S
梓設計・俊設計・戸田芳樹風景計画 共同体
(有) アトリエ・門口、(株) 小石川建築ノ小石川土木 設計共同体
アプル・Hokamura 設計共同体
株式会社 新居千秋都市建築設計
株式会社 飯田善彦建築工房
イシダアーキテクツスタジオ 株式会社
畝森・t e c o設計共同体
AA-MORF・傳設計共同体
有限会社 エヌ・ケイ・エス・アーキテクツ
株式会社 遠藤克彦建築研究所
オンデザイン+リズムデザイン設計共同体
株式会社 環境デザイン研究所
環・設計工房+百枝優設計共同体
北川・上田総合計画 株式会社
株式会社キノアーキテクツ
株式会社 隈研吾建築都市設計事務所
有限会社 香山建築研究所
コムフォレスト・R F A設計業務共同企業体
阪根・エスティ設計共同企業体
株式会社 佐藤総合計画 九州オフィス
三分一博志建築設計事務所・松田設計事務所設計共同体
シーラカンズアンドアソシエイツ・伊藤建築都市設計事務所共同企業体
SUEP・昭和設計共同体
株式会社 丹下都市建築設計
株式会社 徳岡設計 九州事務所
永園・マツダグミ・平野設計共同企業体
西澤・EIKA studio 設計共同体
株式会社 日建設計
株式会社 坂茂建築設計
株式会社 プランテック
PRINT AND BUILD 株式会社
ペリ クラーク アンド パートナーズ ジャパン 株式会社
有限会社 マル・アーキテクチャ
株式会社 三上建築事務所
森田・三井・Schenk Hattori 設計共同体
UAO_IAO 竹田 設計共同体
株式会社 yHa architects

全39者 (50音順)

(2) 代表作品現地視察

二次審査参加者の代表作品について現地視察を実施。

視察日	代表作品	二次審査参加者
令和5年1月6日(金)	アオーレ長岡	(株)隈研吾建築都市設計事務所
令和5年1月10日(火)	京都市京セラ美術館	(株)AS 西澤・EIKA studio 設計共同体
令和5年1月13日(金)	山元町立山下第二小学校	SUEP・昭和設計共同体

(3) 二次審査

日時：令和5年1月21日(土) 12:00~17:30

会場：西鉄ホール

その他：一般傍聴者 109名

提案者傍聴 8名(4者)

報道関係者 6名(5社)

WEB傍聴者 275名

会場傍聴者総数 123名

傍聴者総数 398名

①プレゼンテーション及び質疑応答

二次審査参加者4者が以下の発表順でプレゼンテーション及び質疑応答を実施。

- ・発表者①：SUEP・昭和設計共同体
- ・発表者②：株式会社AS
- ・発表者③：株式会社隈研吾建築都市設計事務所
- ・発表者④：西澤・EIKA studio 設計共同体

②採点

委員7名が技術提案書の主題に沿って採点を実施。主題及び配点は以下のとおり。

《技術提案書(二次審査)の主題》

主題1：公園と一体となった美術館(30点)

(1)立地に配慮した景観形成(15点)

- ・自然豊かな水景の都市公園である大濠公園の特色を活かした新たなランドスケープの創出

- ・福岡県の歴史や風土、地理的特性の反映
- ・周辺の風致景観との調和を図るとともに、風致の維持のために講じる有効な措置
- (2)利便性に配慮した来館者動線（5点）
 - ・主要道路、地下鉄駅等からの安全でわかりやすいアプローチの確保
- (3)開放性の確保（10点）
 - ・来館者の流れを引き込むためのパブリックゾーンの配置
 - ・公園との一体感を確保するとともに防犯性に留意
 - ・公園全体の賑わい創出のための、公園内の他施設とのつながりや相互利用のしやすさ

主題2： 県民が親しみ、誇りを育む美術館（30点）

- (1)福岡県の文化資産を未来に伝えるために十分な規模と性能を有する収蔵の空間と、新しい試みや多様化する表現にも対応できる展示の空間（15点）
- (2)多様な人々が美術館活動に参加し、豊かな心を育むとともにつながりや共感が生まれる拠点となる学びと憩い、交流の場の創出（10点）
- (3)各諸室が効率的に利用でき、来館者が快適に過ごせる配置と動線（5点）

主題3： 日本庭園の活用と再整備（20点）

- (1)新県立美術館、日本庭園、茶室・茶会館の個々の魅力向上と相乗効果の発現（10点）
- (2)作庭趣旨を踏まえた、日本庭園の価値の保全（10点）

主題4： 施設整備に必要な基本的性能（20点）

- (1)地震や風水害など自然災害や火災への対策（4点）
- (2)環境負荷の低減、消費エネルギーの低減（4点）
- (3)施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減（4点）
- (4)有害生物管理など保存科学の考えに基づく環境整備（4点）
- (5)県産材や県産品の活用（4点）

※委員7名の採点のうち、評価項目ごとの最高点1名分及び最低点1名分を除いた5名分の採点を採用し集計（500点満点）

③決選投票

採点の結果、最高得点との点差が僅差（25点以下）となった発表者②と発表者③の2者で決選投票を実施。決選投票は委員7名が2者のいずれかに○を投票し、投票結果は以下のとおりとなった。

	集計
発表者②	2
発表者③	5

④最優秀者及び次点者の選定

決選投票の結果、委員全員合意のもと、以下のとおり5票を獲得した発表者③を最優秀者、2票を獲得した発表者②を次点者に選定。

最優秀者：発表者③ 株式会社 隈研吾建築都市設計事務所

次点者：発表者② 株式会社 A S

⑤最優秀者の得点

最優秀者の採点結果は以下のとおり。

主題1 公園と一体となった美術館	133 / 150
主題2 県民が親しみ、誇りを育む美術館	122 / 150
主題3 日本庭園の活用と再整備	80 / 100
主題4 施設整備に必要な基本的性能	83 / 100
合計	418 / 500